

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「悪魔業なのに、誠実な契約がモットーな美少女」

テーマ:「悪魔業なのに、誠実な契約がモットーな美少女」

キャラクター

55

ストーリー

40

テーマ(設定)

55

文章力

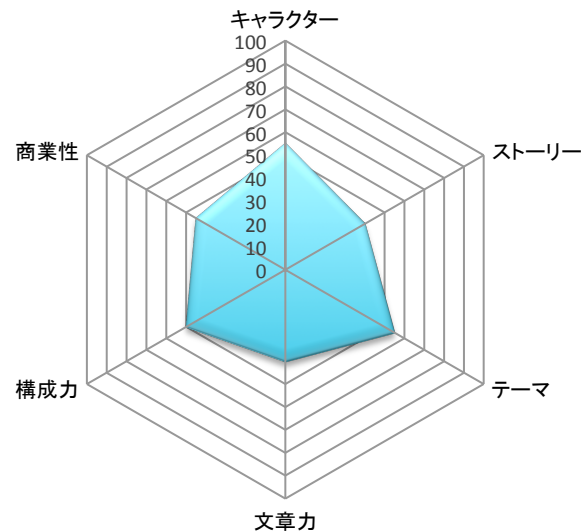
40

構成力

50

商業性

45



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- 物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- 物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・設定自体(不老不死は叶えるなら最初にしたほうがいい話など)は非常に細かい点まで決められており面白かったが、それがストーリーとほとんど関係がない設定であることが残念。もったいない、の方が近い。ただこの設定を活かそうとすると50枚短編では収まらないため、是非この設定で長編を書いてみて欲しいと感じる。また一方、「繁がりに繁がる」や「繁がりに繁がる」といったややこしい言い回しが見受けられたため、むしろこういう時の為に「繁がりに」に対してそれらしい専門用語を設けて話を分かり易くして欲しい。

・「敵が現れた。悪魔の大集団である。」という表現について、ものすごい大軍であるはずなのにこの全く素っ気のない説明文は、一周回って逆に笑ってしまった。しかもその後の「嘘だ、俺の呪文は完璧なはず……うわああああ」といったあっけない大集団の全滅は、むしろそのあっけなさで笑いを取りにきているような印象の方が強かった。もしもその狙いがなく純粋な戦闘シーンを描きたいのであれば、「うわああああ」という過程で悪魔がどのように苦しんでいるのかや、精気とは具体的にどのような色でどのような攻撃なのか等を描写できると良い。そもそも「人型はいない」といった説明文がその前に入っているが、具体的にどのような見た目ののかという描写が少ないため、まずそちらの描写も欲しい。

・エリスのキャラクター自体は非常に面白い。主人公の俺tueee感が強過ぎる印象も受けるが、ライトノベルとしてはこの程度は一般的であるので、むしろこの俺tueee感を引き立てるエピソードが欲しいと感じる。

合計加点ポイント 0

総得点: 285 / 600

B方式総合得点: 13538 点